設置説明書

IH クッキングヒーター
＜赤外線式換気連動対応＞

Panasonic

	トッププレート幅 75cm	トッププレート幅 60cm
品番	KZ-LT75VC	KZ-LT60VS
	KZ-LT75VS	KZ-LT60MS
	KZ-LT75MS	KZ-LT60XS
	KZ-LT75XS	KZ-L60XS
	KZ-L75XS	KZ-L60HS
	KZ-L75HS	KZ-L60HK

設置される方へ

- 本機は約30Aを消費するため、平均的なご家庭の場合で、総電気容量を約60A以上にすることをお勧めします。60A未満の場合は、総電気容量を増やすか、本機の消費電力を4,800Wに切り換えることをお勧めします。
- ガス機器から付け替える場合
  ガス事業者に連絡しないでガス工作物（ガス配管、ガスメーター、ガス栓など）を無断で撤去することは法令により規制されています。
  事前にガス事業者へ連絡してください。また閉栓はガス事業者に依頼してください。
- 排気接続のビルトイン電気オーブンレンジを設置する場合は、必ず電気オーブンレンジの設置についての説明書に従ってください。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。
- 設置説明書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。

1 安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

警告

- **設置は、「設置説明書」に従って確実に行う**
  （設置に不備があると、漏電・火災の原因）
- **電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う**
  （接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因）
- **200V・30A以上の専用回路と漏電遮断器を設置する**
  （この工事をしないと、配線部が異常発熱する原因）
- **アース工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるＤ種接地工事を行う**
- **アースを確実に取り付ける**
  （漏電すると、感電の原因）

- **絶対に分解・修理・改造は行わない**
  （火災・感電・けがの原因）
  ・トッププレートや操作部ユニットの分解、電源コードの直付けなど。
- **トッププレートに強い衝撃を加えない**
  ・上に乗ったり、工具・鍋などを落とさない
  ・コーナー部を強い力で押さえない
  （万一ひびが入ったり割れると、感電や過熱・異常動作の原因）
- **試運転中は、トッププレートやグリルなど高温部に触れない**（やけどの原因）

注意

ワークトップは、耐熱材料を使う

メラミン化粧板（JIS K 6903）
またはこれと同等以上の物

（耐熱性の低い材料は、火災・変形の原因）
※ニス引きのものは変色するため使わない。

2 設置場所／外形寸法

壁からの距離

火災予防条例、電気設備に関する技術基準を定める省令第59条に従って設置してください。

■可燃性の壁（防火構造壁以外）の場合

•<　>内は不燃性の壁または防熱板を取り付けた場合

■左記の距離を離せない場合

防熱板を取り付ける

●背面に取り付ける場合は、後ろIHヒーター（またはラジエントヒーター）を中心に左右の位置をそろえてください。

●本体の側面に取り付ける場合も、上記と同じ距離を設けてください。

（お願い）

●製品の金属部がキッチンの金属部に接触する場合はキッチンの金属部が、建造物の壁中の金属（メタルラスなど）に接触しないようにしてください。（電気設備技術基準第167条で危害なきよう設置することが定められています）

外形寸法図

■平面図

●ラジエントヒーターの場合は、下記寸法です。
※1:152
※2:101.5

■側面図

※1:A寸法は、ワークトップ前面とキャビネット前面（機器前面）との差です。

※2:B寸法（後方スペース）80mm以上あれば、パナソニック電工製の露出コンセント（WK36301B）が使えます。

●コード長さ：約0.7m

■正面図

■背面図

■取り付け穴（ワークトップ切り込み寸法）

※横寸法は560 +4 −10まで対応可能。

3 電気工事をする

専用回路の設置

■ブレーカー付き単相200V・30Aの専用回路

●三相200V（動力電源）は使わない（故障の原因）

■屋内配線用電線

単線直径2.6mm以上または、より線5.5mm²以上

※ご使用のコンセントに適用電線の指示がある場合は
それに従ってください。

漏電遮断器の設置

●推奨漏電遮断器（パナソニック電工製）

品　番	BJS3022N(HBモジュール) または BSHE23022(コンパクトタイプ)
定格電流	30A
感度電流	15mA

※上記以外では、IHクッキングヒーターに
適さないものがあります。

コンセントの設置

D種接地工事を必ず行ってください。（コンセントの一極接地用に配線してください。）

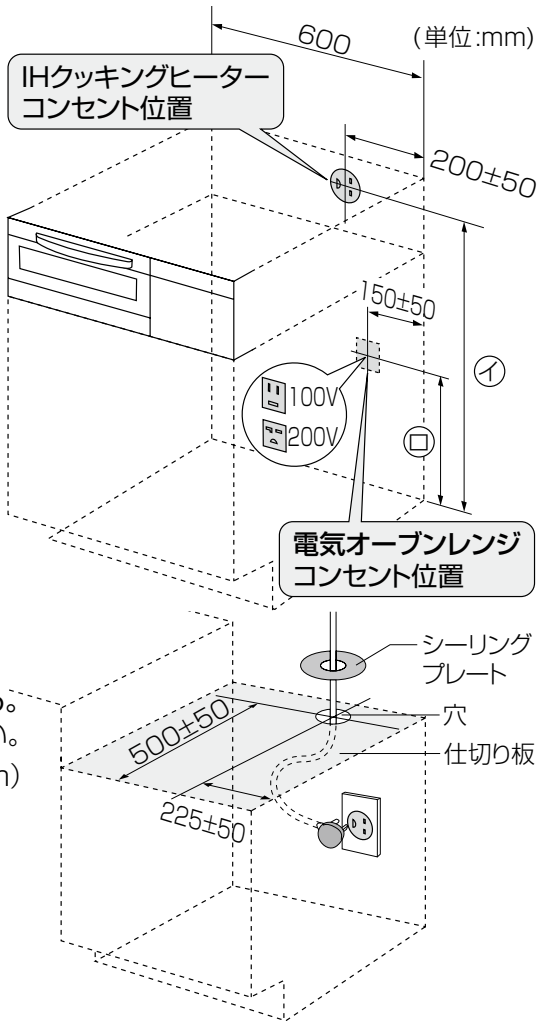
■コンセントの種類・位置

●推奨コンセント（パナソニック電工製）

	IHクッキングヒーター 200Vコンセント	電気オーブンレンジ	
		100Vコンセント	200Vコンセント
定　格	単相250V･30A（接地2P）	単相125V･15A（接地2P）	単相250V･20A（接地2P）
品　番	（埋込型）WF3630B または （露出型）WK36301B	（埋込型）WN1031	（埋込型）WN1932 または （露出型）WKS294

●コンセントの取り付け位置

キッチン高さ	IHクッキングヒーターコンセント ㋑寸法	電気オーブンレンジコンセント ㋺寸法
850mm	700±15mm	商品によって異なります。 詳細は電気オーブンレンジの設置についての説明書をご覧ください。
800mm	650±15mm	

※据置用枠を使う場合は、据置用枠に添付の説明書をご覧ください。

■仕切り板より下にコンセントを設置する場合

（仕切り板のあるキャビネット）

ホールソーなどを使い、φ60mm以上φ100mm以下の穴を開ける。

※穴をふさぐときは、シーリングプレート（あっせん品）を貼り付けてください。

●シーリングプレート　品番：KZ-042（外径約140mm、内径約30mm）

「お買い求め先」にお問い合わせください。

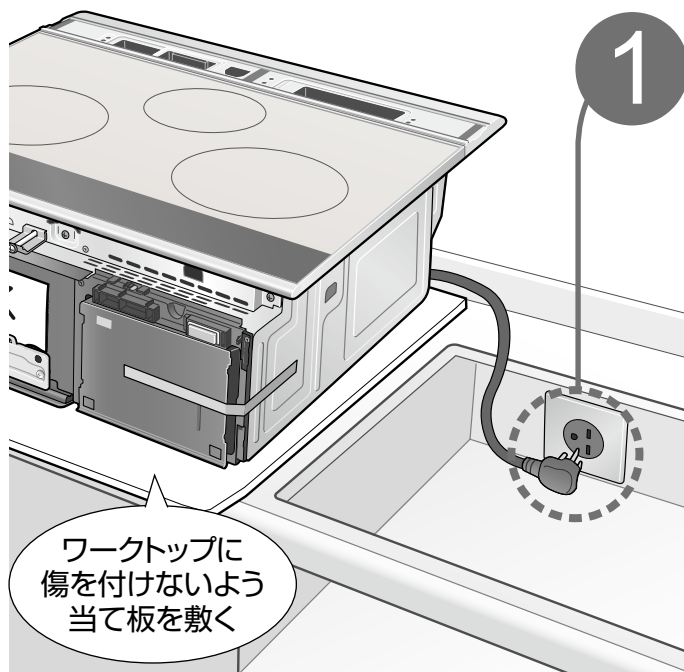
※詳細はシーリングプレートに添付の説明書をご覧ください。

シーリングプレート
穴
仕切り板
500±50
225±50

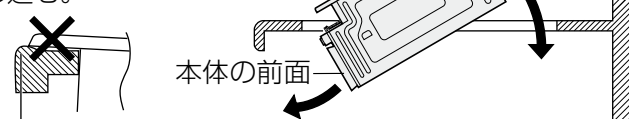
お願い

●電源コードがよじれたり、負担がかからないようにIHクッキングヒーターコンセントの向きに注意してください。

4 本体を設置する（同梱部品をご確認ください）

①電源プラグを差し込み、本体をはめ込む

1 電源プラグを差し込み、ワークトップに本体をはめ込む

●本体の前面を挿入して、全体をはめ込む。

本体の前面

※膨らみに乗り上げないよう、フラット部にセットしてください。

●グリルの止めテープや当て紙は、本体をはめ込んでから外す。（先に外すと、スライドレールが前に出てきます）

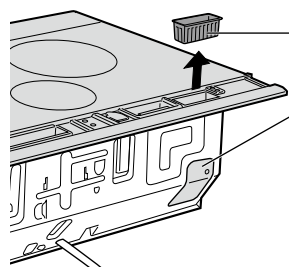
●前面をワークトップに当てない。（スイッチの破損傷が付く原因）

●本体底面とキャビネットの間に、電源コードを挟まない。（本体が浮き、すき間がばらつく原因）

●フレーム下面とワークトップのすき間が、ほぼ均一かどうかを確認する。

※均一でない場合は、トッププレート固定ねじを締め直してください。

排気接続の電気オーブンレンジを設置する場合

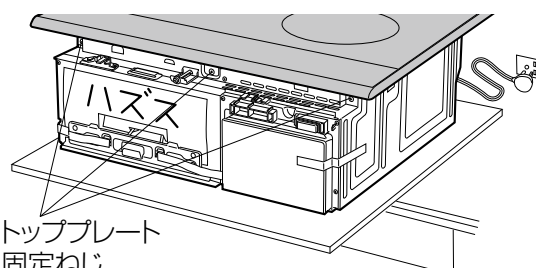
IHクッキングヒーターに、電気オーブンレンジ付属の「排気筒」を接続する作業が必要です。

①排気口カバーを外す。（使用しません）

②背面の接続口カバーを外す。

③IHクッキングヒーターの排気口から「排気筒」を挿入して、電気オーブンレンジの排気口に接続する。

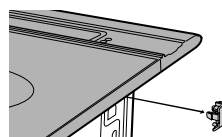
※IHクッキングヒーターと電気オーブンレンジの前面の位置をそろえてください。

※詳細は電気オーブンレンジの設置についての説明書をご覧ください。

■トッププレート固定ねじの締め直し方

①本体を取り出し、トッププレート固定ねじを緩める。

②トッププレート手前の中央を強く押しながら、中央のねじを締め直す。（続けて左右も締め直す）

③再度ワークトップに本体をはめ込み、すき間がほぼ均一であることを確認する。

■取り付け穴横寸法が550mmのとき

●スペーサー（左右２か所）をラジオペンチ等で外す。

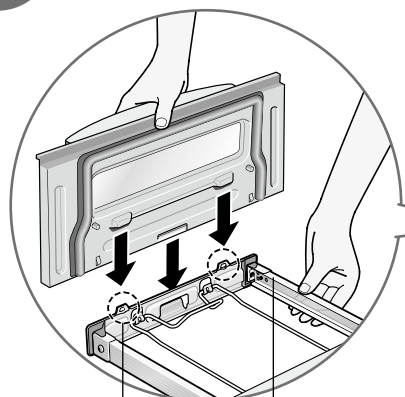
同梱部品

焼き網・受け皿 各１個	扉：１個	サイドカバー：各１個	操作部カバー：1個 / スイッチカバー：1個	吸気口カバー：１個	排気パネル：２枚
		（左） （右）		（高さ10mm） ※本体とワークトップのすき間が大きいときは高さ24mmのタイプをあっせんしています。（P.7）	

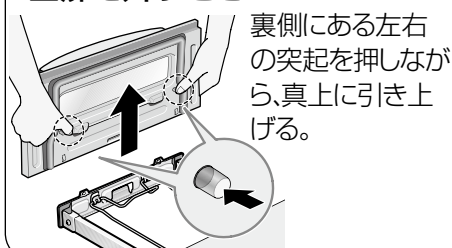
※この製品は、専用の天ぷら鍋を使わなくても揚げ物ができますので、天ぷら鍋は同梱しておりません。

②グリルの扉を取り付ける

1 引き出して、受け皿・焼き網の当て紙を外す

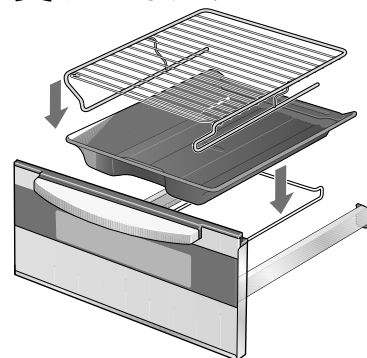
2 扉を取り付ける

スライドレール

●グリル扉取り付けツメを、3か所同時に「カチッ」と音がするまで差し込む。（中央のツメはスライドレールの外側にあります）

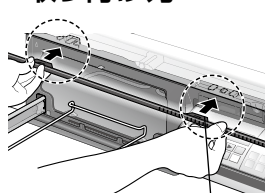
■扉を外すとき

裏側にある左右の突起を押しながら、真上に引き上げる。

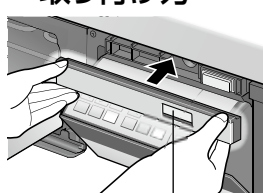
受け皿ホルダー
焼き網
受け皿

3 受け皿・焼き網を受け皿ホルダーにのせる

4 閉める

⑤吸気口カバー・スイッチカバー・操作部カバー・扉・排気パネルの取り付け

①吸気口カバー
②スイッチカバー
③操作部カバー
の順に取り付ける
④グリルに扉を再セットし、閉める
⑤排気パネルを取り付ける

■吸気口カバーの取り付け方

●吸気口カバーの凸部（2か所）を奥まで差し込む

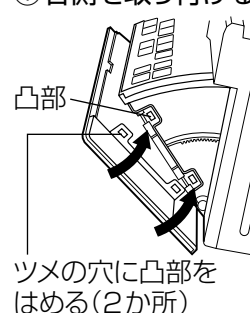
■スイッチカバーの取り付け方

●スイッチと穴を合わせて、確実に押し込む

■操作部カバーの取り付け方

●右側→中央→左側の順に取り付ける。

①右側を取り付ける

ツメの穴に凸部をはめる（2か所）

②中央を押す

③左側を押し込む
④中央が浮いていないか確認する

③サイドカバーを取り付け、本体の位置を調整する

2 サイドカバー(左右)を取り付ける

●サイドカバー(左)のリブを溝に合わせ、外側に回すように差し込む。(2か所のツメが本体側面の穴にはまる)
※無理にまっすぐ押し込むと、ツメが割れる原因

●キャビネットの側面に乗り上げていないことを確認する。

溝
リブ
ツメ

1 本体操作部の止めテープを外し

●突起にサイドカバー(右)の溝を合わせ、全体をまっすぐ押し込む。

■サイドカバー(左)を外すとき

●内側に回すような感じで引っ張る。

3 本体の位置を調整する

①キャビネットと本体左右のすき間を均一にする

②キャビネットの扉面に本体前面を合わせる

※位置を調整するときは、フレームの周囲から防水シールがはみ出さないように注意する。
はみ出した場合は、本体を少し持ち上げて、薄いヘラ状のもので軽く押し込む。

③調整後は、いったん扉を外す(P.5)
(前固定金具を締め、吸気口カバーを付けるため)

■取り外し方

①グリル扉を外す

②操作部を開き

③⊖ドライバーでねじるように左側のツメを外す(2か所)

あっせん品(前パネル・吸気口カバー)について

■キャビネット前面の開口寸法が、標準(225mm)より大きい場合

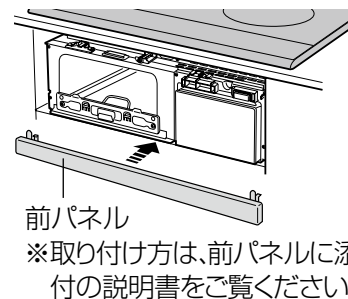
前パネルを取り付ける。

開口寸法	前パネル(シルバー)品番	前パネル(ブラック)品番
245mm	AD-KZ043S-25	AD-KZ043-25
270mm	AD-KZ043S-50	AD-KZ043-50
300mm	AD-KZ043S-80	AD-KZ043-80

前パネル
※取り付け方は、前パネルに添付の説明書をご覧ください。

■本体とワークトップのすき間が大きい場合

高さ24mmの吸気口カバーを取り付ける。

●品番：AD-KZ045C

お問い合わせ先：パナソニック電工ホームエンジニアリング株式会社
システム部材開発センター (06) 6942-6202

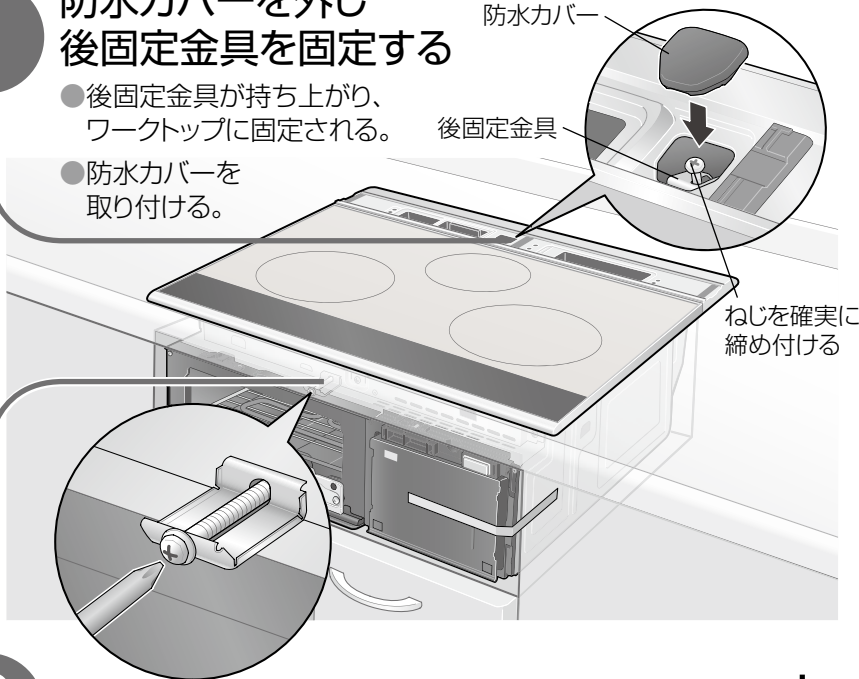
(2011年5月現在)

④固定する

→⑤へ続く（P.5）

1 防水カバーを外し後固定金具を固定する

●後固定金具が持ち上がり、ワークトップに固定される。

●防水カバーを取り付ける。

2 前固定金具を固定する

①ねじを緩めて、前固定金具を緩める

②前固定金具をねじの上に載せるようにセットし、ねじを締め付けてワークトップの裏面に固定する

●ドライバーの先や根元などで製品を傷付けないようにする。

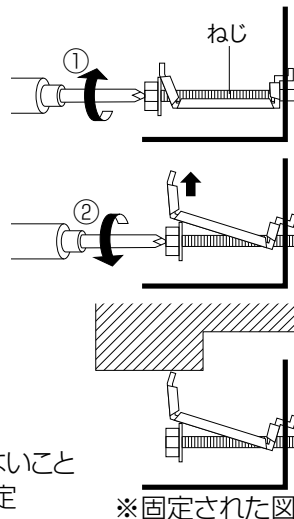
※先の長い（約70mm以上）ドライバーをお使いください。

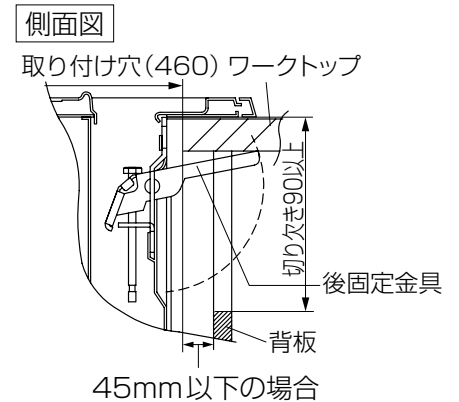
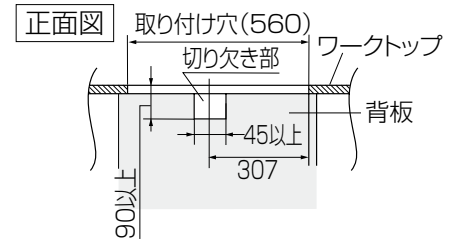
●固定後は、次のことを確認する。

・フレームを押して動かないこと

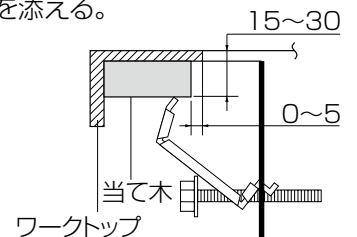
・トッププレートの左右で傾き・すき間がないこと

※傾いている場合は、トッププレート固定ねじを閉め直してください。（P.4）

※固定された図

■ワークトップの後方に背板がある場合

背板位置がワークトップの取り付け穴から45mm以下の場合は、後固定金具が通るように切り欠きを設ける。

45mm以下の場合

■ワークトップの厚みが薄い場合

当て木を添える。

■赤外線コードの切り換え

出荷時はコード「2」に設定しています。

●設置完了後の作動確認❹で、レンジフードが作動しない場合は、コードを切り換えて再度確認してください。

（後ろIHまたはラジエントヒーター操作部）

電源スイッチを入れ

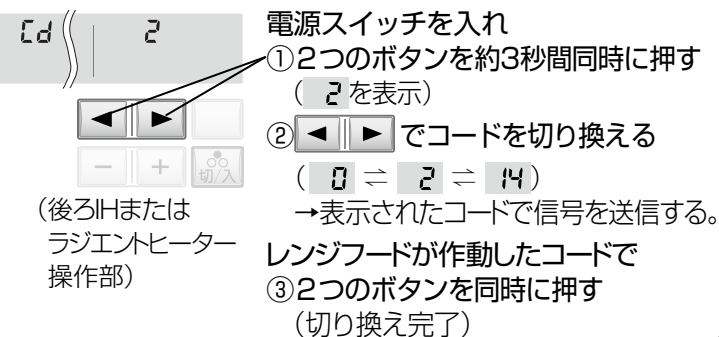
①2つのボタンを約3秒間同時に押す（2を表示）

②◄ ► でコードを切り換える

（0 ⇄ 2 ⇄ 14）

→表示されたコードで信号を送信する。

レンジフードが作動したコードで

③2つのボタンを同時に押す（切り換え完了）

■消費電力の切り換え（4,800W/5,800W）

出荷時は5,800Wに設定しています。

●必ず契約容量ブレーカー（契約容量ブレーカーがない場合は主幹ブレーカー）をご確認いただき、総電気容量が60A未満の場合は、消費電力を4,800Wに切り換えることをお勧めします。

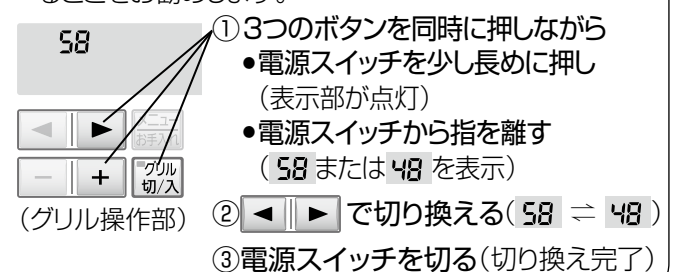
（グリル操作部）

①3つのボタンを同時に押しながら

●電源スイッチを少し長めに押し（表示部が点灯）

●電源スイッチから指を離す（58または48を表示）

②◄ ► で切り換える（58 ⇄ 48）

③電源スイッチを切る（切り換え完了）

5 設置完了後、確認する

確認項目		
包装材料の取り外し	●部品止めテープ（グリル・本体操作部・排気パネル）・グリルの当て紙	
同梱部品などの取り付け	●排気パネル・防水カバー・サイドカバー・スイッチカバー・操作部カバー・吸気口カバー グリル（受け皿・焼き網・扉）	
外　観	●本体が前後左右に傾いていないこと　●トッププレートの左右に傾き・すき間がないこと ●フレームが浮いていないこと・フレームの周囲に防水シールがはみ出ていないこと ●トッププレートが汚れていないこと　●操作部カバー・スイッチカバーが浮いていないこと	
電気工事	●電源電圧が単相200Vであることを確認する ※単相100Vでは、電源スイッチを入れたときにH20を表示します。	単相200Vに接続しても表示が消えない場合は故障です。
	●アースが接続されていること ●漏電遮断器が設置されていること	
作　動	❶電源スイッチを入れる	通電ランプ点灯。
	❷各ヒーターの作動を確認する ●左IHヒーター：メニュー→切/スタート ●右IHヒーター：メニュー→切/スタート ●後ろIHヒーター（またはラジエントヒーター）：切/入	表示の点滅を確認する。 ●左・右IHヒーター 保温 1 2 3 4 5　弱　中　強 ●後ろIHヒーター 保温 1 2 3 4 5　弱　中　強 ●ラジエントヒーターはしばらくすると熱くなる。
	❸グリルは グリル切/入 を押し、作動を確認する	しばらくすると庫内が熱くなる。
	＜赤外線式換気連動対応のレンジフードの場合＞	
	❹レンジフードとの「連動／非連動」を確認する ●連動　：・各ヒーターの操作ボタンを「入」にする。 ・すべてのヒーターの操作ボタンを「切」にする。	・レンジフードが作動する。 ・レンジフードが停止する。 （レンジフードによっては数分間残置運転して停止する）
	●非連動：下記の方法で「非連動」に設定し、いずれかのヒーターを入れる。 グリル操作部の ◀ ▶ を約3秒間同時に押し 非連動 を表示させる	・レンジフードが作動しないことを確認する。 →確認後は、同じ操作で 非連動 を消し、「連動」に戻してください。
	※「連動」になっているのに、レンジフードが作動しない場合 赤外線コードを切り換えて確認してください。（P.7） →それでも連動しない場合は、お買い求め先または修理ご相談窓口（取扱説明書ご参照）にご相談ください。	

■電気試験後は　●必ず、各ヒーターと電源スイッチを「切」にしてください。
●取扱説明書・設置説明書・IHクッキングガイド・保証書は、必ずお客様にお渡しください。

設置完了確認者印	

パナソニック電工株式会社
製造元 パナソニック株式会社　キッチンアプライアンスビジネスユニット
〒651-2271　神戸市西区高塚台1丁目5番1号

ZY16-A77
S0411Y0